

東京 2020 オリンピック聖火リレー

滋賀県の聖火ランナー43 人・1 団体が内定！

武豊さん・西川貴教さん・山中慎介さん・伊藤みきさん・SHIHO さんなど



東京 2020 オリンピック聖火リレー滋賀県実行委員会は、2020 年 5 月 28 日（木）、29 日（金）に行う滋賀県聖火リレーで県内を走行する最年少 11 歳から最高齢 79 歳までのランナー43 人・1 団体（県実行委員会枠）を発表しました。一般公募 32 人、県・市町推薦 11 人・1 団体となり、32 人の公募枠には 4,189 人の応募があり、倍率は約 131 倍となりました。

推薦枠からは、日本騎手クラブ会長の武豊さん（50）、ミュージシャンで滋賀ふるさと観光大使の西川貴教さん（49）、元WBC世界バンタム級王者の山中慎介さん（37）、元スキーモーグルオリンピックの伊藤みきさん（32）、パラトライアスロン選手の宇田秀生さん（32）、ロンドン五輪バドミントン銀メダリストの垣岩令佳さん（30）、ファッションモデルで滋賀国際親善大使の SHIHO さん（43）らが内定となりました。1 団体は滋賀県大津市内の女子社会人バレーボールチームが内定しました。

内定を受け、武豊さんは、「競走馬の調教施設がある滋賀の地で、オリンピック聖火リレーの聖火ランナーを務めさせていただくことは大変光栄。当日は、オリンピック・パラリンピックのご成功を祈りつつ、走りたい」と喜びのコメントを発表しました。

聖火リレーは、2020 年 3 月に福島県からスタート、7 月 24 日の開催式までの間に全国 47 都道府県を巡り、滋賀県は 30 番目。京都府からトーチを受け取り、福井県に引き継ぎます。

同時に、聖火リレーのルートの詳細も発表され、守山市のルートでは、琵琶湖大橋の一部を自転車ランナーが走行するほか、新緑の並木道が美しい高島市のメタセコイア並木、時代劇の撮影場所としてもよく使われる近江八幡市の八幡堀付近、国宝の天守をはじめ数々の重要文化財が現存する彦根市の彦根城などがみどころです。

走行ルートの詳細は、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 HP をご覧ください。https://tokyo2020.org/jp/special/torch/olympic/map/detail/30_shiga.html

ボランティアの募集

東京 2020 オリンピック聖火リレーコースの沿道整理や出発式・セレブレーション会場の整理等を行っていただくボランティアを募集します。（募集人数 2,453 人）

応募期間：2019 年 12 月 18 日（水）～2020 年 2 月 28 日（金）

詳細は、滋賀県スポーツボランティア『ゲームコンダクターSHIGA』の HP をご覧ください。

<https://gameconductor.shiga.jp>